



「民家の再生」が建物に潜む記憶を読み取り、新しい価値を付加し未来に引き渡すものであるように、
「書物」も時と人をつなぐことができるのではないかと。
第二の人生を歩み始めた老夫婦が家族やまちの人々と豊かな関係を築き、
本が私たちに与える歴史と知識を次世代へつなぐことのできる古本屋と広い庭を備えた二世帯住宅を提案する。



既存 南東側外観



再生後 南東側外観



再生後 全体外観

01. 須坂市の現状

須坂市では、花を育て、花を愛する感性ある人づくりによって、快適な生活環境と訪れる人にやさしく温かい魅力ある「ふるさと」づくりを推進する一環として「花と緑のまちづくり事業」を行っている。

(須坂市ホームページより)

また、歴史的街並みの保存活動が盛んに行われている一方で、開発が進む表通りに対して、手つかずのまま放置された空き家が残る裏通りとの格差が生まれている。

そこで、裏通りに面した北側の敷地をオープンガーデンとして開放し、四季を楽しむ事のできる樹木を新たに植え、古本屋に続く道を整備することで自然を体験できるだけでなく、好きな場所を選んで読書を行える環境をつくった。



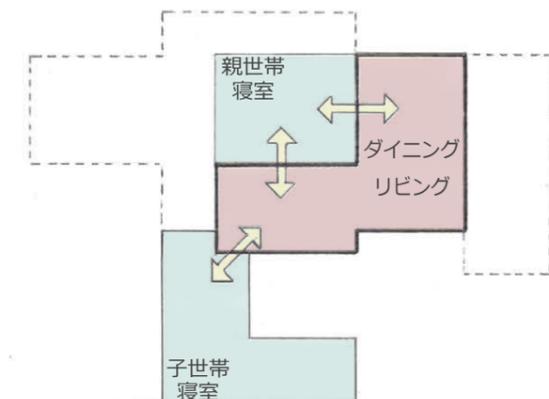
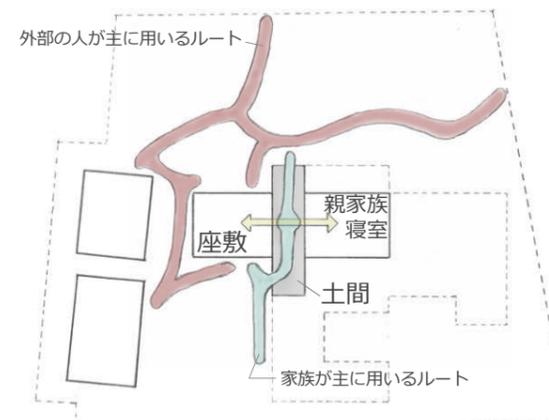
02. 生活のすがた

親世帯の第二の人生

庭の手入れが趣味の老夫婦は、南北に続く土間を行き来しながら作業を行う。また、訪れたまちの人々や、観光客を招き入れることができる座敷は、中間領域としての土間を介して老夫婦の寝室と並べて配置した。座敷は、サロンや菜づくり、ドライフラワーアレンジメント教室としての利用や、郷土料理を振る舞うなど、老夫婦が外部と交流の行える場となり、第二の人生を楽しむ事ができる。

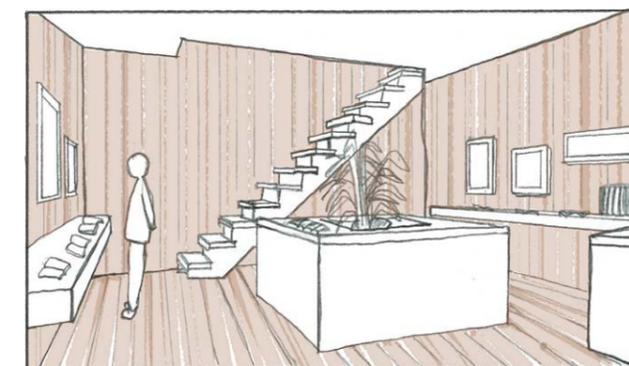
人の集住

日当たりの良い共用のリビングを中心に、親世帯と子世帯が共生する。こどもが小さい時は、老夫婦に子育ての手伝いをしてもらい、老夫婦に介護が必要になったら、娘夫婦に介護をもらう。そのため親世帯の寝室を中心に水回りやダイニング・リビングなどを配置し、二世帯の家族がほど良い距離感で協力し合いながら生活していく。



03. 古本屋の役割

土蔵（北側）の古本屋では、まちの人々から不要となった本を回収し、その本の展示・無料配布を行う。本は、多くの知識が詰まっている。本について、汚れ・シミ、落書き、なども含めて新たな価値を持った本を人から人へと渡していく場所となる。1階のギャラリーでは、古本の展示を行い、古本の魅力でもある紙の肌触りや、紙・インクのおいにも楽しむことができる。2階では、誰でも自由に閲覧・持ち帰りのできる本棚が設置されており、本が新たな持ち主の手に渡っていく。



土蔵（北側）1階 ギャラリー



屋根伏せ図 (S=1/200)

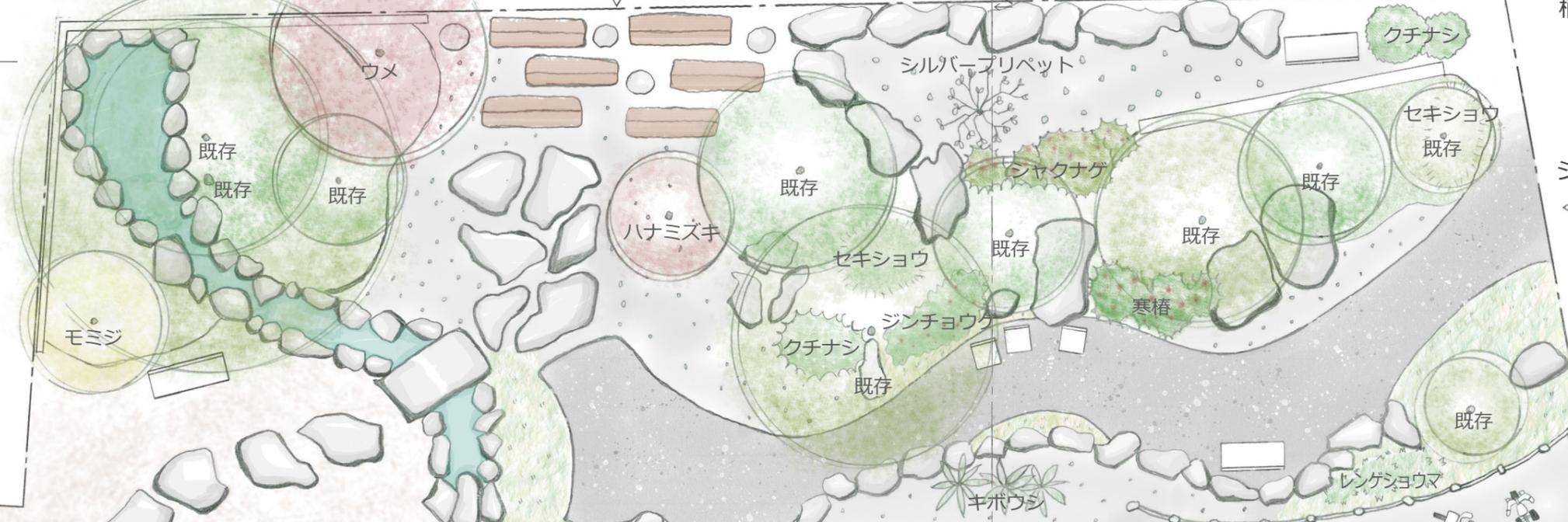


植物の開花時期・紅葉時期

シャクナゲ	4~5月
ハナミズキ	4~5月
ソヨゴ	5~6月
シルバープリペット	5~6月
クチナシ	6~7月
キボウシ	7~8月
レンゲショウマ	7~8月
モミジ	9~11月
寒椿	2~4月
ウメ	1~4月
ジンチョウゲ	2~4月

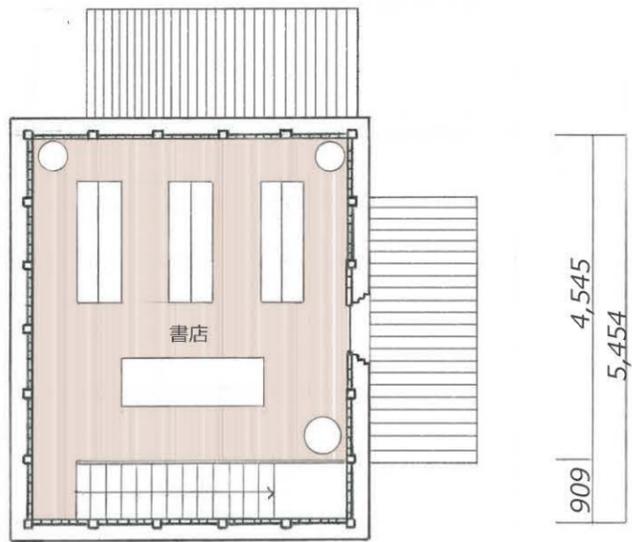
面積表

主屋	延べ床面積：207m ² 建築面積：274m ²
土蔵（北側）	延べ床面積：49m ² 建築面積：39m ²
土蔵（南側）	延べ床面積：65m ² 建築面積：64m ²
敷地面積	1,028m ²
法定建蔽率	60%
建蔽率	37%
法廷容積率	200%
容積率	31%
用途地域	第一種住居地域

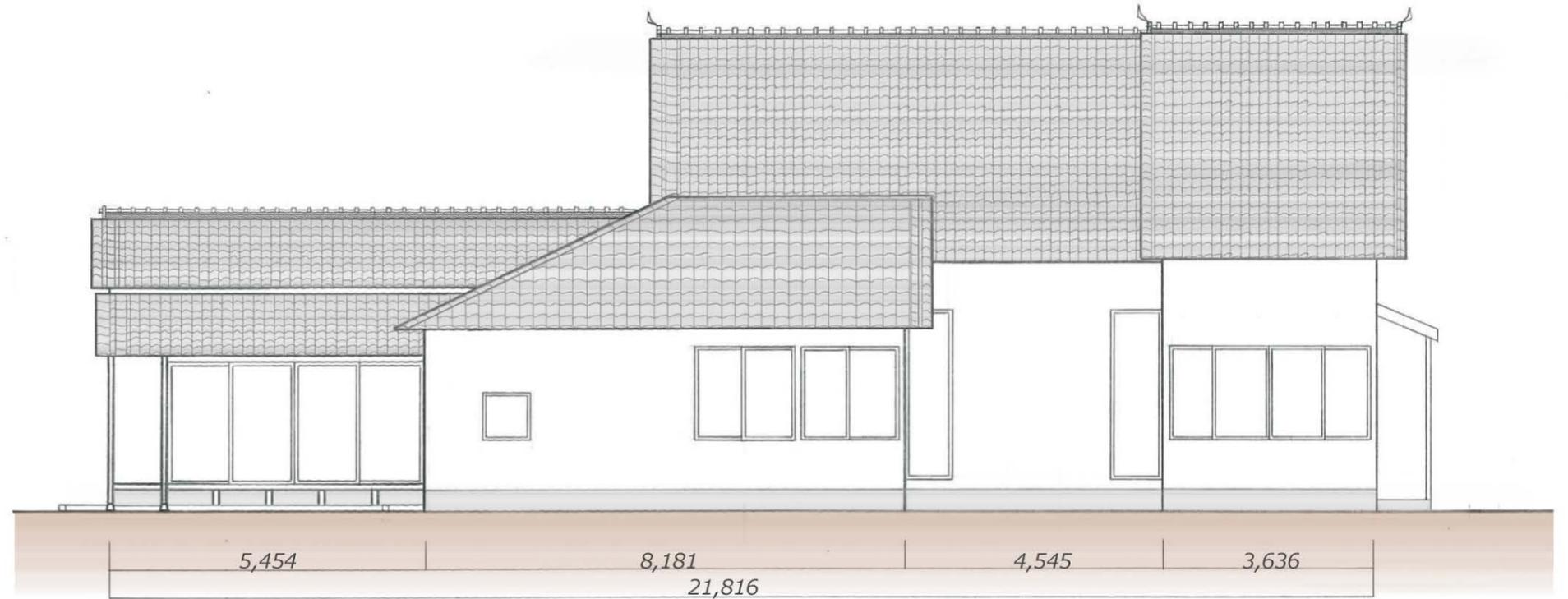


■ 既存
□ 新規

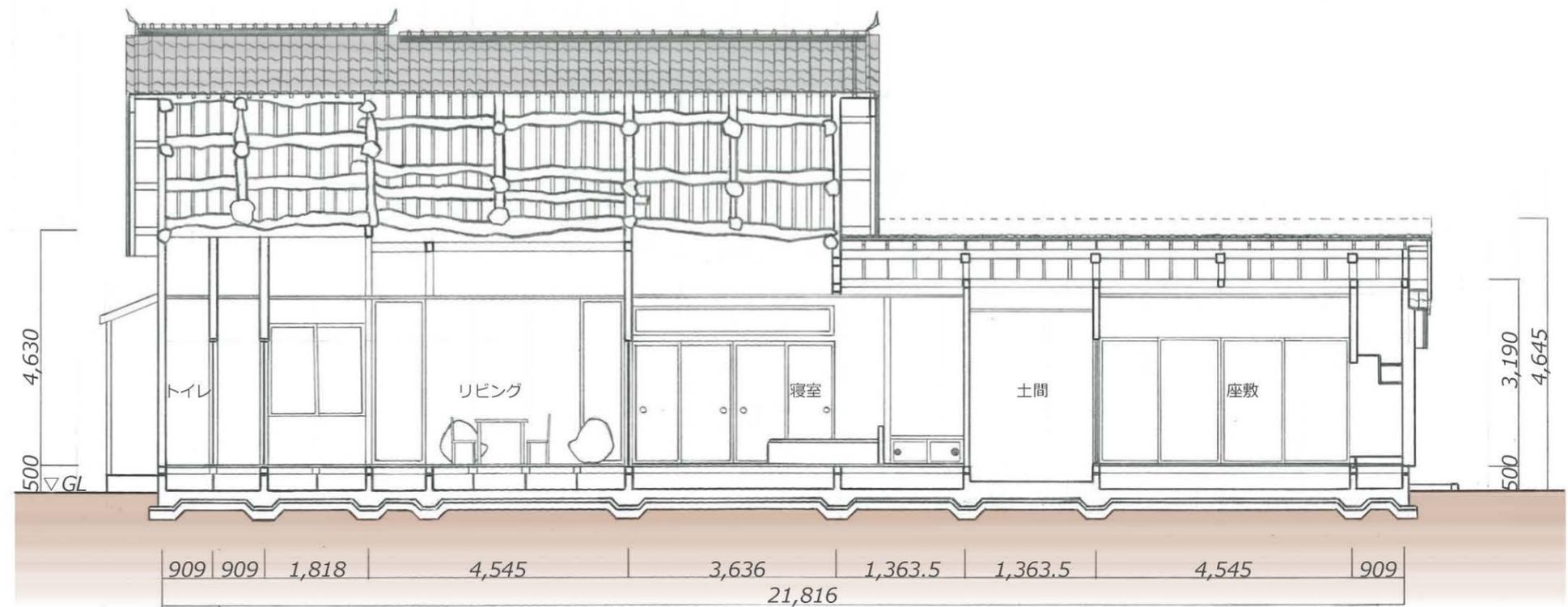
配置平面図 (S=1/100)



土蔵 二階平面図 (S=1/100)



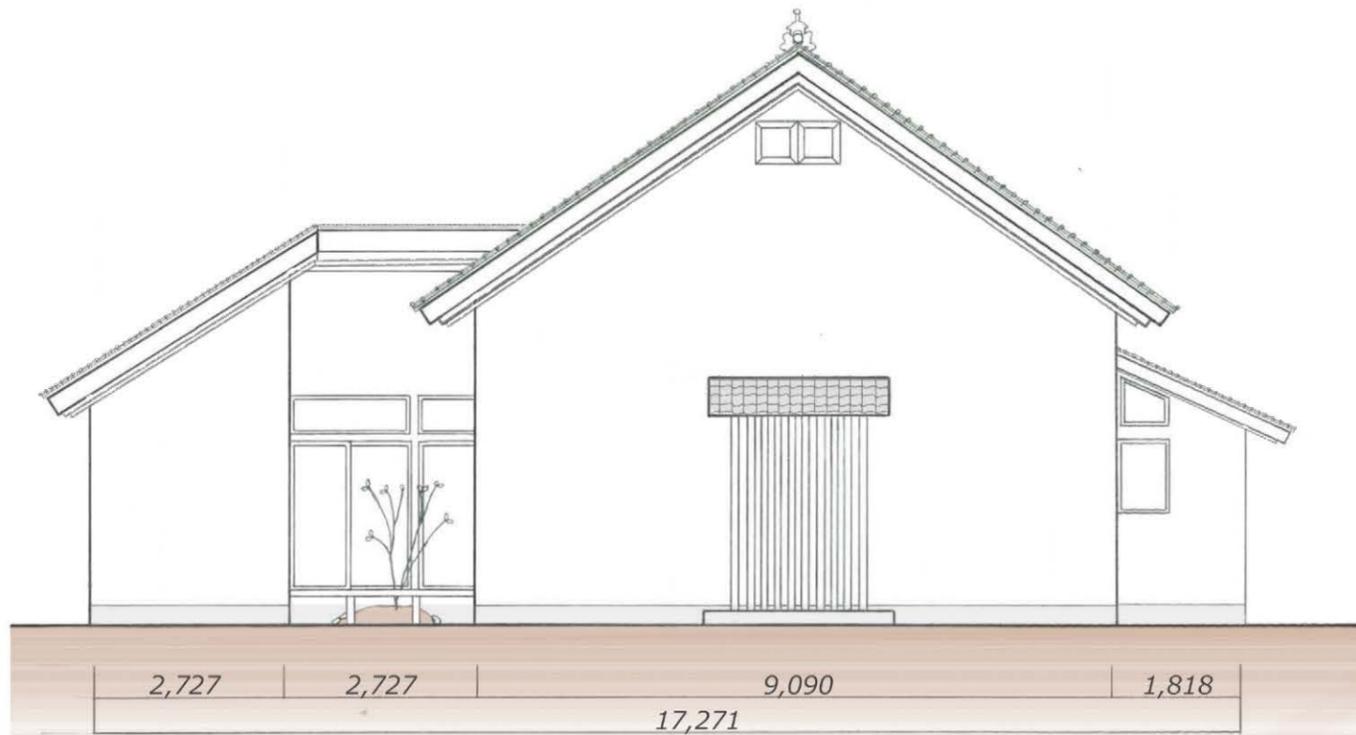
南側立面図 (S=1/100)



C-C' 断面図 (S=1/100)



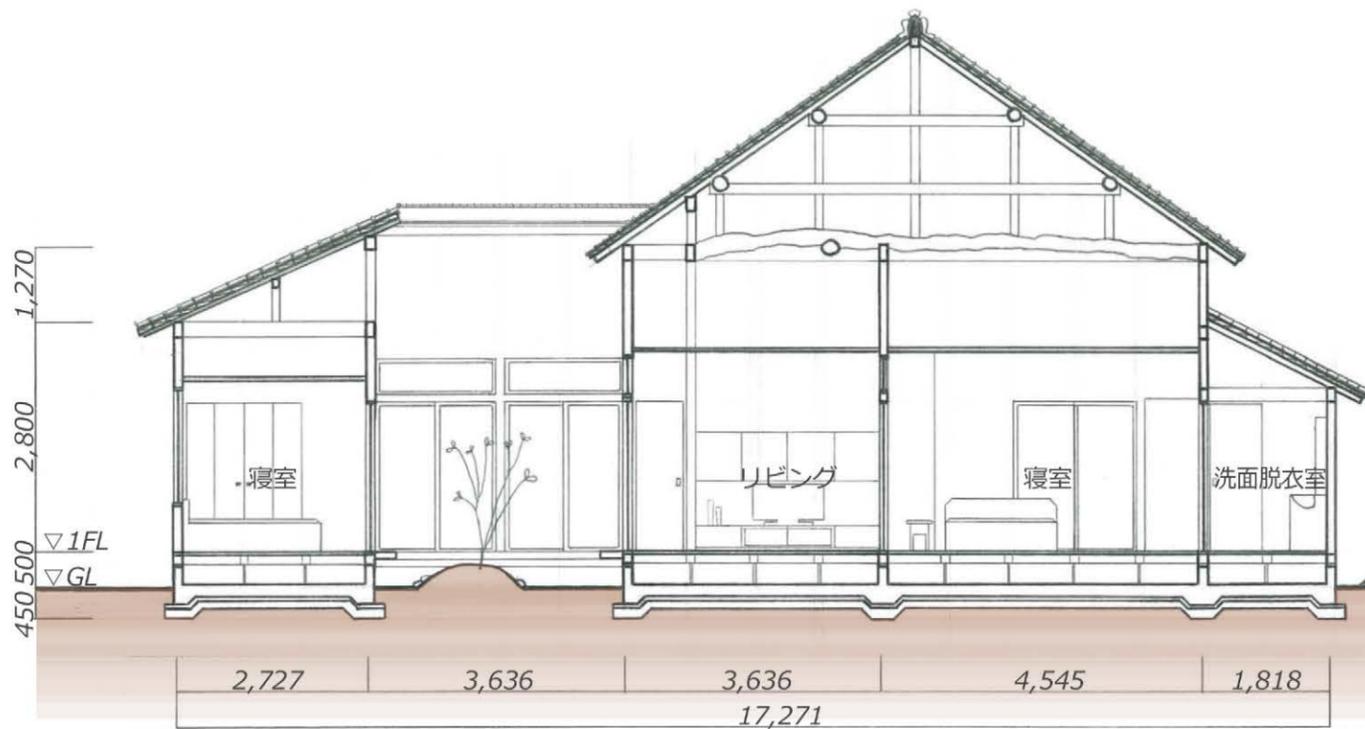
土蔵 南東側外観



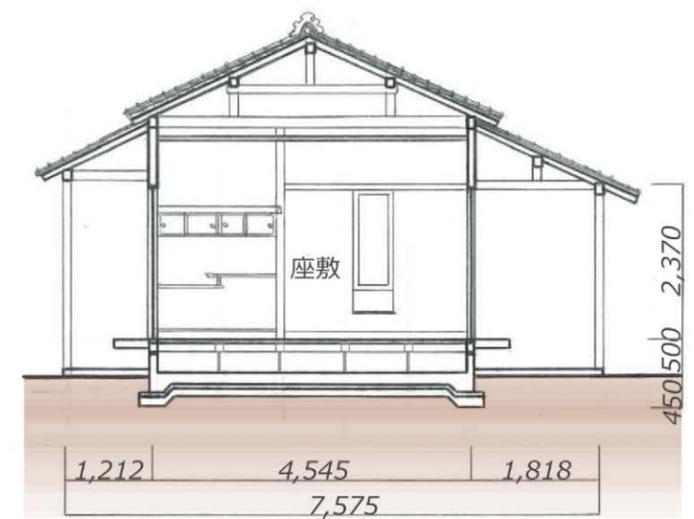
東側立面図 (S=1/100)



オープンガーデン



A-A' 断面図 (S=1/100)



B-B' 断面図 (S=1/100)

